

press release

2011 年 12 月 5 日

スタンダードチャータード銀行、ザ・バンカー誌より フィナンシャル・インクルージョン賞を受賞

スタンダードチャータード銀行(本店:ロンドン、CEO:ピーター・サンズ/在日支店:東京都千代田区、CEO:クリストファー・R・ナイト)は、先日ザ・バンカー誌の年間最優秀銀行賞授賞式にて、金融へのアクセスを向上させる取り組みでのリーダーシップを称賛され Financial Inclusion(金融との一体)賞を授与されました。ザ・バンカー誌は英フィナンシャル・タイムズ紙が発行する業界誌で、同誌が毎年授与するこれらの賞は、卓越した銀行業務の業界標準として評価されています。

スタンダードチャータードの確固たる国際的プレゼンスと、金融へのアクセスの向上のために実施している幅広いプロジェクトが評価され、今回の受賞に至りました。評価基準となったプロジェクトの 1 つに、当行がアフリカの農家を対象に行っている革新的な金融構造があります。固定資産等ではなく、家畜など非従来型の担保を元に融資を可能にするもので、農家では資本をより効果的に活用し、倉庫や機械などが調達できるようになるものです。

他にも、スタンダードチャータードがタイで導入したユニークなマイクロファイナンス・モデルがあります。現地の「人口・地域開発協会(Population and Community Development Association:PDA)」と協力し、バンノンプレク村に村落開発銀行(Village Development Bank:VDG)を立ち上げました。これは、土地などの担保のない村民が信用取引を利用できるようにするものです。この村落銀行の個人会員数は 70 名で、預金高は約 2,850 米ドルにまで達しています。会員村民がオーナーとなる村落銀行では、返済期間が最長 2 年間で 200~1,000 米ドルの融資を提供します。融資は主に、販売用農作物の植え付けなどの農業用途に工面されます。この村落銀行を立ち上げた結果、2010 年以降の平均所得水準は約 11%増加し、平均負債水準は 12%減少しています。

スタンダードチャータードは、引き続きお客様の金融へのアクセス拡大につながる新しい商品をご紹介します。最近では、中国・韓国・インドおよびインドネシアで「会話型 ATM」を導入しました。これにより、視覚障害者が音声起動システムを活用し、現金の引き出しや暗証番号の変更、残高照会など日常の操作を行うことができるようになりました。視覚障害は当行が熱心に取り組んでいる問題であり、

アジア・アフリカおよび中東地域の市場において視覚治療へのアクセスを改善するべく、2010 年までに 1 億米ドルを集めるとの発表を行ったばかりです。

当行グループ CEO ピーター・サンズは次のように述べています。「スタンダードチャータードの取り組みが、ザ・バンカー誌に評価されたことを非常に誇りに思います。タイの農家向けのマイクロファイナンスや、インドネシアでの会話型 ATM などの革新的な商品は、事業を展開する国々で前向きな変化をもたらすべく、我々の専門知識を活用している証でもあります。」

本件に関するお問い合わせは下記にて承ります。

スタンダードチャータード銀行
コーポレート・アフェアーズ部
Tel: 03-5511-1245 / Fax: 03-5511-9311
CA.japan@sc.com

スタンダードチャータード銀行-アジア・アフリカ・中東地域における先駆者として

スタンダードチャータードはロンドン証券取引所、ムンバイ証券取引所、ならびに香港証券取引所に上場し、時価総額ベースでFTSE100構成銘柄の上位20社にランキングされている国際的な金融グループです。ロンドンに本拠地を置く当行グループは、創立以来150年以上の歴史を誇り、世界で最もダイナミックな市場-アジア・アフリカ・中東地域における先駆者として事業展開しています。グループの営業収益および税引き前利益については、9期にわたり継続して最高益を更新していますが、これは事業母体からの収益成長（オーガニック成長）によるものです。

また、スタンダードチャータード銀行は、各国市場のお客様に注力した世界最高のインターナショナルバンクを目指しています。グループの営業収益および税引き前利益の約9割は、アジア・アフリカ・中東地域で事業展開するホールセールバンキングおよびコンシューマーバンキング両部門の事業収益から創出されています。また、世界70カ国以上で1,700余の店舗展開をするグローバル事業ネットワークを有し、その市場やビジネスにおける飛躍的な成長により国際的なキャリア構築の機会を生み出しているのです。当行グループでは、ステークホルダーである皆様の「真のパートナー」として長期的視野に立ったサステナビリティ（持続性）のある事業構築に取り組む傍ら、高いレベルでの企業統治（コーポレートガバナンス）を保持すると共に、社会的責任を果たし、環境保護と多様性のある人材育成にも力を注ぐことで、世界中の信頼を勝ち得ています。現在、125の国籍により構成される総勢85,000余名の行員（その約半数は女性）を擁し、上級管理職の国籍は約70に及んでいます。そして、新しいブランドプロミスである「Here for good」は、このような当行の伝統と企業価値を反映しています。

日本・アジア地域におけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜にはじめての駐在員事務所を開設した1880年にさかのぼり、今年で131年目を迎えます。現在では、東京支店（千代田区・山王パークタワー）および丸の内支店（千代田区・岸本ビル）において約270名の従業員を擁しています。アジア・アフリカ・中東の各地域で投資事業を展開する日本の企業法人・金融法人のお客様向けにホールセール、カストディ、トレジャリー、トレードファイナンス等の金融サービスを提供するほか、2005年には個人のお客様向けに「プライオリティバンキング」部門を開設し、さらなる成長を続けています。

世界におけるスタンダードチャータードのウェブサイト（英語）：www.standardchartered.com

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト（日本語）：www.standardchartered.co.jp

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト（英語）：

www.standardchartered.co.jp/index_english.html